

---

 会 告
 

---

## 第2回自動制御連合講演会

**主催学協会** 計装研究会・自動制御研究会・中部自動制御研究会・日本機械学会・日本計測学会・日本自動制御協会・日本繊維機械学会

**参加学協会** 応用物理学会・化学工学協会・電気学会・電気通信学会・日本鉄鋼協会

**幹事学協会** 自動制御研究会 千葉県千葉市弥生町1 電話 072 ② 0261~8 東京大学生産技術研究所内  
 日本計測学会 東京都板橋区板橋6丁目 3569 電話 ⑥ 3201 中央計量検定所内  
 日本自動制御協会 京都市左京区山端一丁目田町1 電話 ⑦ 3562  
 京都大学工学部研究所修学院分室内

**日時** 昭和34年11月17日(火)・18日(水)・19日(木)

**会場** 学士会館(東京都千代田区神田錦町3の28)

**講演部門** 第1部 自動制御理論 第2部 自動制御要素  
 第3部 自動制御の各種工業への応用

**申込要項** 申込用紙は随意であるが次の事項を必ず記載すること。

①講演題目 ②梗概約200字 ③講演部門名 ④講演ならびに連名者の氏名、勤務先、通信先、  
 会員資格(連名の場合は登壇者に○印をつけること) ⑤映画、スライド使用の有無と大きさ。

**講演内容** すでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。講演時間は約20分(討論を含む)。

**申込先** 主催、参加学協会所属の会員は当該学協会を通じて申込み、各学協会会員以外の方は直接幹事学協会のいずれかに申込む。

**前刷原稿** 講演者は9月30日までに直接日本計測学会へ提出のこと。

用紙は規定のものを講演申込者に送附します。

## 鉄鋼技術講座発行について

かねて本会において鉄鋼技術講座編集委員会を設け編纂を進めていました標記の書籍が、この程漸く第1巻の発行を見るに至りましたので御知らせ致します。

本講座は鉄鋼使用者に対して鉄鋼に対する認識を深めることを主眼とし、鋼材の製造法、特性、加工性、加工法等を説き有効適切な材料選択と合理的使法について全6巻に亘り講述したものであり、使用者のみならず現場作業にもよい参考書となりますのでお薦めいたします。

- |     |               |
|-----|---------------|
| 第1巻 | 製鉄製鋼法         |
| 第2巻 | 鋼材製造法         |
| 第3巻 | 鋼材の加工性と試験     |
| 第4巻 | 鋼材の加工         |
| 第5巻 | 鋳鉄の性質と加工      |
| 第6巻 | 鋳鉄および鋼材の規格と解説 |

なお会員に限り割引くことを地人書館と交渉しましたが、業者間の規約によりでき兼ねるとのことです。協会の負担において一割引とし、会員各位の御便宜をはかりたく存じます。ただし送料も協会負担と致しますので、その都合で全6巻または5部以上取りまとめでの御注文に限り割引致します。

割引での御注文は全6巻または5部以上に取りまとめの上直接協会宛代金添え御申込み下さるようお願い申し上げます。もつとも協会まで御足労願えれば一部にても割引いたします。

## 第9回品質管理大会講演募集要領

品質管理大会は本会外 21 学協会、団体の共催で来る 11 月に第9回大会を開催することになりました。

品質管理は技術者や研究者のみならず営業や資材関係者などが互に討論しあうことによつて進歩するものであり、他産業の実施例も互に益するところ大であります。したがつてこの機会に、なるべく多くの方々から実施成果、研究成果、新提案などを発表されることを希望します。下記により講演を募集いたしますから、ふるつて応募していただきたいと思ひます。

- 1. 内 容** 品質管理ならびに統計的方法の応用に関する研究発表、たとえば各種工業における品質管理のやりかた、効果、考えかた、品質設計、新製品計画、管理プログラム、標準化、検査、品質規格、管理図、実験計画、相関分析、サンプリング、抜取検査、自動制御、管理試験、計測管理、設備管理、熱管理、倉庫管理、安全管理、事務管理、原価管理、市場調査、オペレーションズ・リサーチ、教育普及方法および用具、組織など、今年度は特に下記のように新製品に重点がありますので、設計、研究、開発、営業、資材、企画、広告関係者などの発表を特に期待します。
- 2. 開催月日** 昭和 34 年 11 月 25 日 (水) 報告会 (午前) 報告会 (午後) 懇親会 (夜)  
昭和 34 年 11 月 26 日 (木) 報告会 (午前) 分科会 (午後から夜まで)  
27 日 (金) 総合討論会 (終日)
- 3. 形 式** 報告会は従来通り。ただし会場数を増加する。分科会および総合討論会のテーマは「新製品設計から消費者まで」消費者が満足してくれるような新製品を設計し、生産し、販売し、消費者に満足して使つてもらふというのが Q C の中心問題ですが、これをうまく進めて行く問題を討論したいと思ひます。  
今年度は参加費 (会場費、印刷物、軽食 1 回分) と懇親会費とにわけ、各 1,200 円とする予定です。
- 4. 場 所** 学士会館 東京都千代田区神田錦町 3-28
- 5. 講演時間** 1 件 20 分 (討論 10 分)
- 6. 申込締切** 8 月 10 日 申込希望は至急切手 50 円同封の上、申込用紙および原稿用紙を準備委員会宛御請求下さい。申込は前記規定用紙に参加希望部会名、題目 (400 字詰原稿用紙 1 枚以内の講演要旨添付のこと)、所要時間、発表者氏名ならびに所属会社、工場名などを記載して申込むこと。
- 7. 申込および報告送附先**  
品質管理大会準備委員会 (東京都中央区京橋 1 の 2 大阪商船ビル、日本科学技術連盟内)
- 8. 報告予稿締切: 9 月 10 日**  
講演者は必ず報告予稿を提出のこと。指定の 400 字詰原稿用紙 10 枚以上 20 枚以内厳守 (20 枚以上のときは返送して再提出をもとめるか、あるいは当方で適宜削除します)。  
報文は活版印刷とするので特に期日厳守されたし。その他報文記載要領参照。
- 9. アンケート:** 前に記したように本討論会のテーマである「新製品—設計から消費者まで」にはいろいろな問題があると思ひますので、どんな問題点があるか、どんな分科会を持ちたいかを 8 月 10 日までに大会準備委員会宛に葉書で御連絡下さい。これにより分科会のテーマをきめます。